

交通網・都市基盤整備調査特別委員会 報 告 資 料

令和4年12月14日

報告事項件名	頁
(1) 花畑周辺地域におけるバスの試験運行について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2) 【追加】はるかぜ3号（西新井・舎人線）の廃止予定について・・・・・・・・	6
(3) 竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	8

(都市建設部)

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年12月14日

件 名	花畑周辺地域におけるバスの試験運行について																																														
所管部課名	都市建設部交通対策課																																														
内 容	令和3年10月1日より運行を開始した、花畑桑袋団地と六町駅とを結ぶ社会実験バスの利用状況について、以下のとおり報告する。 1 利用状況（単位 人） （1）利用者推移 運行本数は減ったものの、運賃払い利用者数に変動は見られない。 乗車割引証の導入に伴い、大幅な減少を予想していた高齢層の利用に関しては、半減程度にとどまっている（月別詳細は別紙1（P4）参照）。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>1 期 (R3.10-R4.3)</th><th>2 期 (R4.4-R4.9)</th><th>R4.10</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 日あたり平均利用者数</td><td>218.1</td><td>262.3</td><td>190.0</td></tr> <tr> <td>内数 運賃払い</td><td>109.6</td><td>126.7</td><td>126.7</td></tr> <tr> <td>内数 シルバーパス (乗車割引証)</td><td>108.5</td><td>122.0</td><td>56.7</td></tr> <tr> <td>内数 回数券</td><td>—</td><td>13.6</td><td>6.6</td></tr> <tr> <td>1 便あたり平均利用者数</td><td>4.33</td><td>5.20</td><td>4.37</td></tr> <tr> <td>内数 運賃払い</td><td>2.18</td><td>2.51</td><td>2.92</td></tr> <tr> <td>内数 シルバーパス (乗車割引証)</td><td>2.15</td><td>2.42</td><td>1.30</td></tr> <tr> <td>内数 回数券</td><td>—</td><td>0.27</td><td>0.15</td></tr> </tbody> </table> （2）収支率24％に必要な運賃収入（見込） <table border="1"> <thead> <tr> <th>1 便あたり 運賃収入</th><th>2 期 R4.4-9 平均</th><th>R4.10</th><th>収支率24%の場合</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td>553.7 円</td><td>787.0 円</td><td>約 1,200 円</td></tr> </tbody> </table> 令和4年10月より収支率向上策を講じており、1便あたりの運賃収入は42％増となったものの、収支率24％を達成するためには、運賃収入が1便あたり2人（割引運賃の場合は4人）分足りない。			区分	1 期 (R3.10-R4.3)	2 期 (R4.4-R4.9)	R4.10	1 日あたり平均利用者数	218.1	262.3	190.0	内数 運賃払い	109.6	126.7	126.7	内数 シルバーパス (乗車割引証)	108.5	122.0	56.7	内数 回数券	—	13.6	6.6	1 便あたり平均利用者数	4.33	5.20	4.37	内数 運賃払い	2.18	2.51	2.92	内数 シルバーパス (乗車割引証)	2.15	2.42	1.30	内数 回数券	—	0.27	0.15	1 便あたり 運賃収入	2 期 R4.4-9 平均	R4.10	収支率24%の場合		553.7 円	787.0 円	約 1,200 円
区分	1 期 (R3.10-R4.3)	2 期 (R4.4-R4.9)	R4.10																																												
1 日あたり平均利用者数	218.1	262.3	190.0																																												
内数 運賃払い	109.6	126.7	126.7																																												
内数 シルバーパス (乗車割引証)	108.5	122.0	56.7																																												
内数 回数券	—	13.6	6.6																																												
1 便あたり平均利用者数	4.33	5.20	4.37																																												
内数 運賃払い	2.18	2.51	2.92																																												
内数 シルバーパス (乗車割引証)	2.15	2.42	1.30																																												
内数 回数券	—	0.27	0.15																																												
1 便あたり 運賃収入	2 期 R4.4-9 平均	R4.10	収支率24%の場合																																												
	553.7 円	787.0 円	約 1,200 円																																												

(3) 沿道施設における主なイベント開催時の利用者増加率

日程	イベント名	場所	増加率 (同曜日比)
R4. 10. 30(日)	はなはた文教マルシェ	文教大学	+80%
R4. 11. 3(木・祝)	わんフェス	元渚江公園	+33%
R4. 11. 4(金)	酉の市 (一の酉)	大鷲神社	+10%

< 酉の市 (一の酉) の様子 >



2 今後の進め方

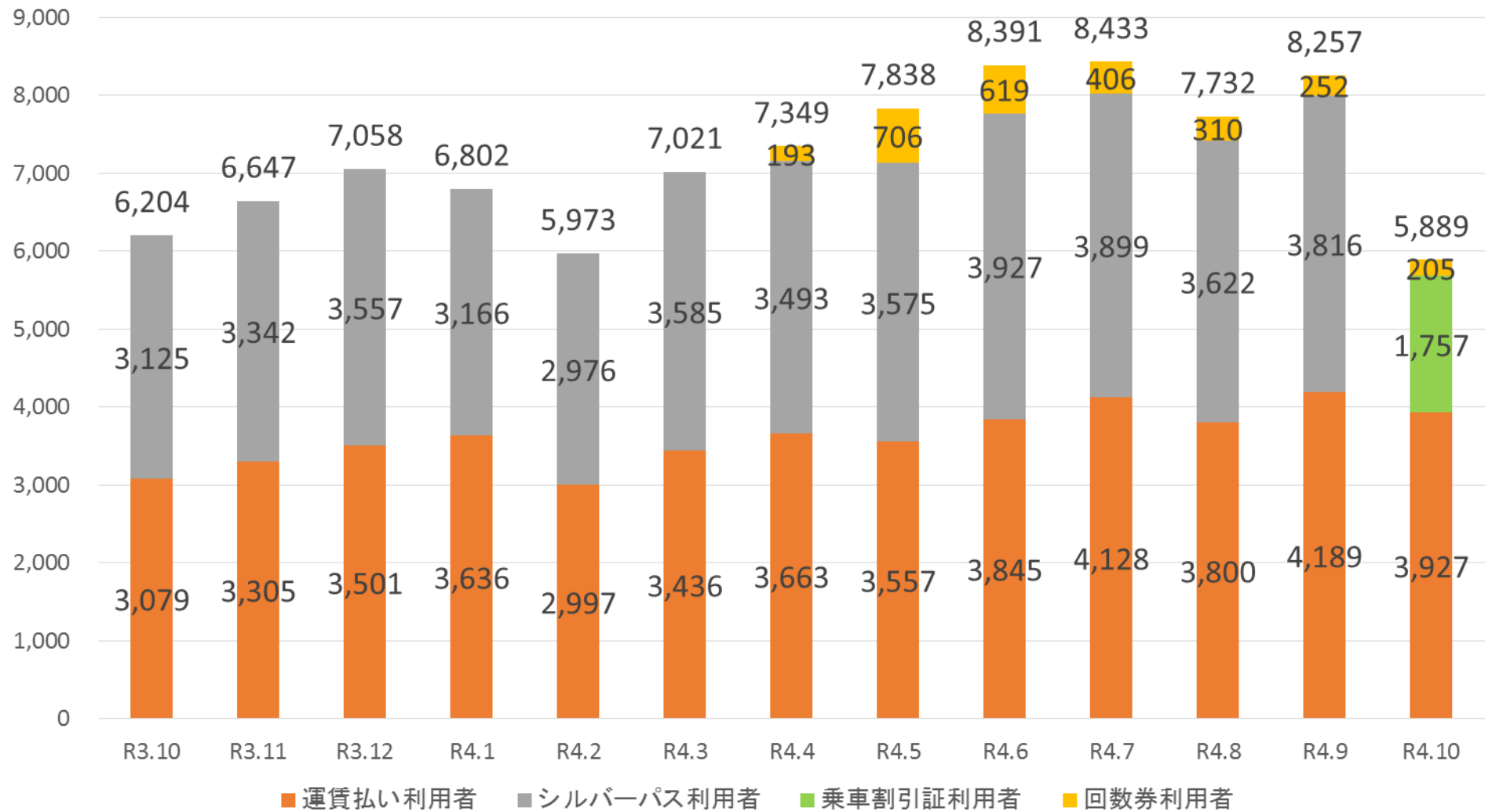
新型コロナウイルス感染症の影響によるバス利用者減少の回復見通しがたっていないこと（別紙2参照 P5）や、令和4年10月に導入した乗車割引証の利用が進んでいないことを鑑み、検証期間の延長を含め、検証運行の進め方について検討する。

※ 参考 社会実験バス「ブンブン号」2週間平均利用者数推移<1期・2期>（別添資料参照）

問 題 点
今後の方針

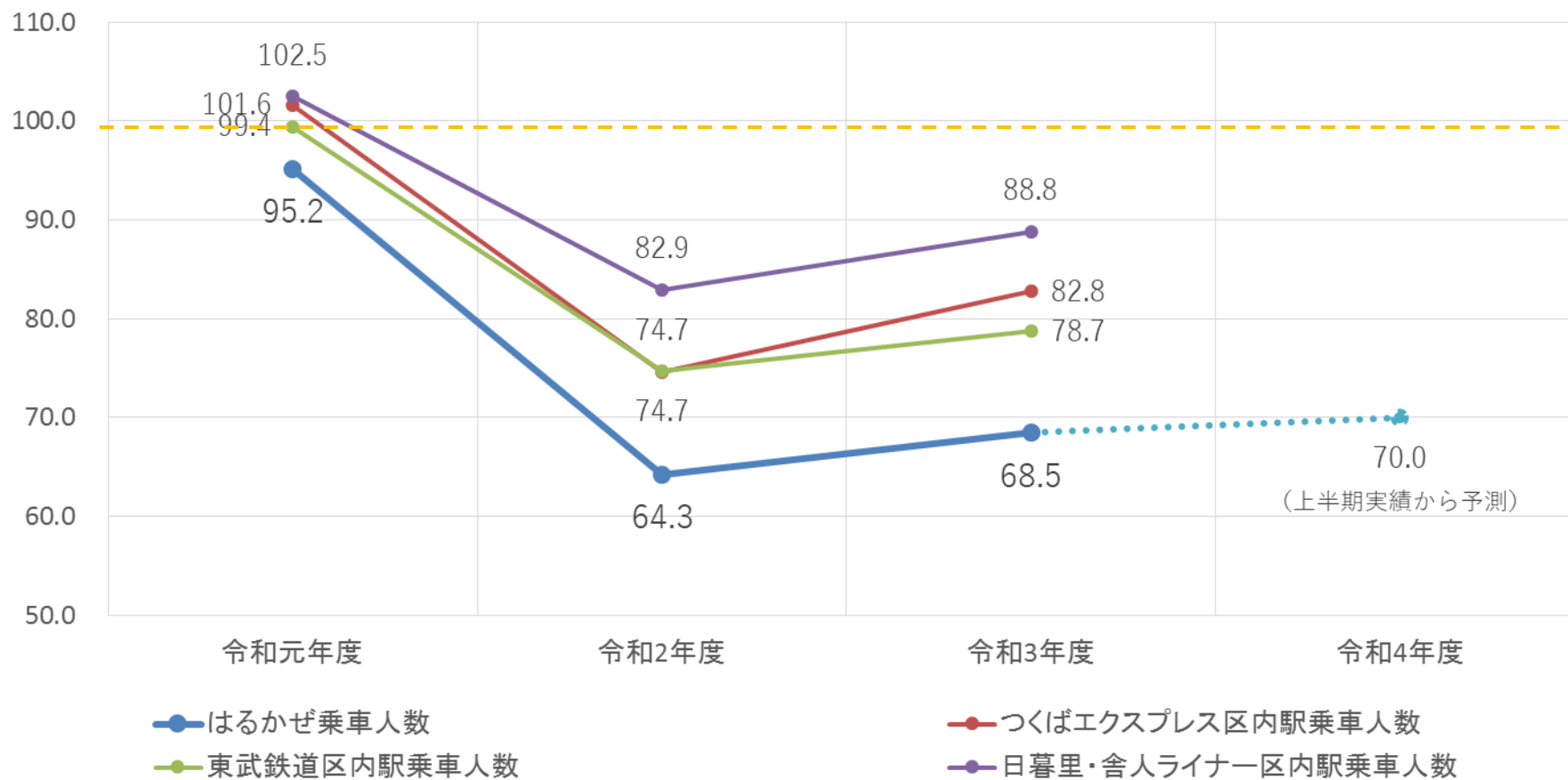
今後の進め方について、花畑周辺地域公共交通検討会での意見を踏まえながら、検討していく。

社会実験バス「ブンブン号」 月別利用者数推移(単位:人)



コロナ禍における区内公共交通の利用指数

(平成30年度を100とした場合、公共交通機関への影響は令和2年3月頃から)



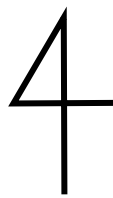
「ブンブン号」 目標収支率推移	令和元年度	令和3年1月	令和4年10月
	40%	24%	24%
備考	先行自治体参照	シルバーパス利用者(4割)分を除外	乗車割引証導入(目標据置)

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年12月14日

件 名	【追加】はるかぜ3号（西新井・舎人線）の廃止予定について									
所管部課名	都市建設部交通対策課									
内 容	はるかぜ3号を運行する国際興業株式会社から、路線廃止の報告があったため、以下のとおり報告する。 1 はるかぜ3号概要 別紙（P7）のとおり 2 運行事業者からの報告内容 （1）廃止理由 ア 他の路線と比較し、利用者が極端に少なく、大幅な赤字である。 イ これまで減便や運賃改定などを行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、企業努力のみで継続することは困難である。 ウ 車両も老朽化しており、区の車両購入補助を活用しても、持ち出し分（25%）に対して運賃収入では賄えない。 エ 埼玉県内の運賃改定を令和4年11月1日付けで国に申請しており、はるかぜ3号の廃止も経営合理化の一つである。 （2）廃止予定時期 令和6年3月 3 これまでの協議経緯 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th><th>区と運行事業者の協議内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和4年</td><td>7月</td><td>出来る限り速やかな路線廃止意向の報告を受ける。路線廃止後、事業者が運行する既存路線の経路変更などで少しでも交通空白地域をカバーできないか区から検討を依頼。</td></tr> <tr> <td>11月</td><td>社内での検討の結果、利用者への周知期間等を考慮し、廃止予定時期を令和6年3月とする報告を受ける。既存路線の変更は困難であり、代替としてオンデマンド交通導入の提案を受ける。</td></tr> </tbody> </table>				区と運行事業者の協議内容	令和4年	7月	出来る限り速やかな路線廃止意向の報告を受ける。路線廃止後、事業者が運行する既存路線の経路変更などで少しでも交通空白地域をカバーできないか区から検討を依頼。	11月	社内での検討の結果、利用者への周知期間等を考慮し、廃止予定時期を令和6年3月とする報告を受ける。既存路線の変更は困難であり、代替としてオンデマンド交通導入の提案を受ける。
		区と運行事業者の協議内容								
令和4年	7月	出来る限り速やかな路線廃止意向の報告を受ける。路線廃止後、事業者が運行する既存路線の経路変更などで少しでも交通空白地域をカバーできないか区から検討を依頼。								
	11月	社内での検討の結果、利用者への周知期間等を考慮し、廃止予定時期を令和6年3月とする報告を受ける。既存路線の変更は困難であり、代替としてオンデマンド交通導入の提案を受ける。								
問題点 今後の方針	路線沿線の町会・自治会へ周知を行うとともに、入谷・鹿浜地区で進めているバス以外の多様な交通手段の導入を検討していく。									

別紙



- 7

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

令和4年12月14日

件 名	竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について
所管部課名	都市建設部まちづくり課 鉄道立体推進室鉄道関連事業課 地域のちから推進部地域調整課
内 容	竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について、以下のとおり報告する。 1 鉄道高架化工事の進捗状況について 鉄道高架化工事のお知らせ（別紙参照 P 1 2） 2 環境影響評価事後調査報告書（工事の施行中その6）の提出について 東武伊勢崎線（竹ノ塚駅付近）連続立体交差事業については、東京都環境影響評価条例に基づき環境影響評価を行い、事後調査計画書を提出している。 事後調査計画書に基づき、環境影響評価事後調査報告書（工事の施行中その6）を以下のとおり提出した。 （1）提 出 日 令和4年10月26日（水） （2）提 出 先 東京都環境局 （3）調査項目 騒音・振動、廃棄物等 （4）調査結果 全ての調査項目において、環境影響評価の基準値の範囲内であった。 （5）審議結果 令和4年11月30日（水）に東京都環境影響評価審議会が開かれ、新たな環境保全対策が必要となるような意見はなかった。 3 竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会理事会の開催結果について （1）日 時 令和4年11月14日（月） 午後3時から （2）場 所 竹の塚センター 1階 第一会議室 （3）主な内容 ア 役員の異動及び選任について イ 竹ノ塚駅付近鉄道高架化工事の進捗状況について ウ 今年度の予定について

4 竹ノ塚駅西口公衆喫煙所の改修について

竹ノ塚駅西口に暫定的に設置している竹ノ塚駅西口公衆喫煙所において、受動喫煙防止対策として、たばこの煙、においを上空に逃がすことを目的に、屋根の撤去作業を令和4年11月17日（木）に行った。

今後も引き続き、受動喫煙防止対策を図りながら、適切な管理・運営を行っていく。

5 タウンマネジメントの取組み

(1) 概要

ア 現在の竹ノ塚駅東口駅前広場に面したUR竹の塚第三団地3号棟1階の101、102区画を活用し、コミュニティカフェ、情報発信及びイベント実施スペースなど、区民が気軽に立ち寄れる居場所づくりをUR都市機構が行う（UR都市機構委託の事業者が常駐）。

イ 地域住民参加型ワークショップの企画・運営。

ウ 賑わいの創出・地域への関与機会に資するイベントの企画・運営。

(2) 区と協力した取組み

足立区とUR都市機構による協定を締結し、令和5年度から令和7年度にかけて、UR都市機構が運営する事業費用の一部を区が負担し運営することで、区の施策に対する以下の取組みを予定している。

ア 体感治安の向上、エリアデザイン計画など区の施策に対する地域ニーズの把握、効果分析。

イ 地域との連携事業、プラスイメージ創出への取組み。

ウ まちづくりに関する情報発信・意見聴取。

(3) 経緯及び今後の予定

令和4年 9月	事業者決定（UR都市機構）
令和4年 9～12月	活用区画の整備（UR都市機構）
令和5年 1月	開設（約3年間の活動を予定）

6 竹ノ塚駅周辺の利用実態調査について

(1) 利用実態調査の概要

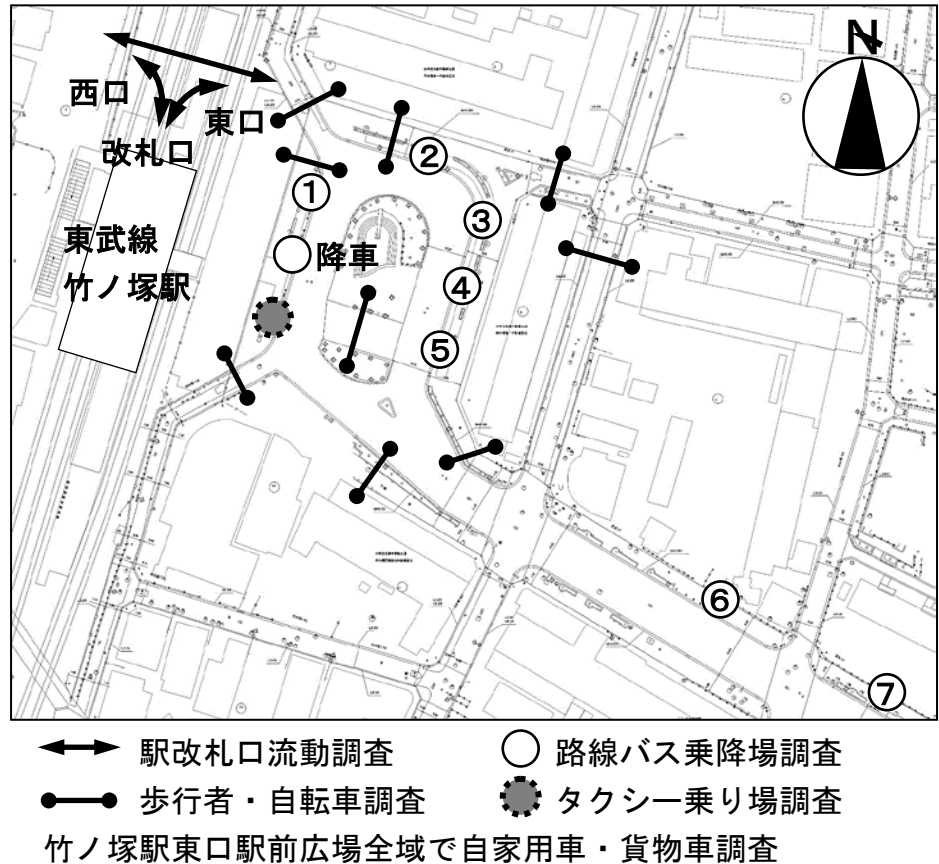
ア 目的

竹ノ塚駅東口周辺の駅利用実態調査を行い、駅前広場及び駅周辺まちづくりの将来計画に反映するため。

イ 調査日

(ア) 平日	令和4年10月20日（木）	24時間調査
(イ) 休日	令和4年10月23日（日）	24時間調査

ウ 調査項目及び調査箇所図



(2) 調査結果

ア 駅改札口流動調査

平日の竹ノ塚駅乗降客数 56,765 人、休日の駅乗降客数 37,769 人のうち、ともに東口利用者が約 6 割、西口利用者が約 4 割であった。

イ 路線バス乗降客数調査

北千住駅前行き都営バス乗車場⑥において、乗車を待つ回送バスが、平日、休日ともに 1 台から 2 台が路上に待機している状況となっており、竹ノ塚駅東口駅前広場の再整備に向けては、待機バスのスペース確保を考慮する必要がある。

ウ タクシー乗降客数調査、滞留台数調査

駅前のタクシー乗場からけやき大通りに向けて滞留するタクシー台数は、平日の午後 8 時頃から徐々に増え午後 10 時付近では 20 台以上、休日は深夜時間帯に 10 台以上が路上に待機している状況となっており、竹ノ塚駅東口駅前広場の再整備に向けては、待機スペース確保を考慮する必要がある。

エ 自家用車調査、貨物車調査

平日、休日ともに、約 1,200 台の車両が駅前広場に乗り入れているが、そのうち駅までの送迎目的の自家用車が 7 割以上で、朝晩の比較的短時間の駐停車であった。次に、短時間駐停車の小型貨物車が約 1 割で、今後の店舗配置などに応じて考慮する必要がある。

7 竹ノ塚駅周辺地区まちづくり連絡会の開催結果について

(1) 日 時 令和4年12月5日 (月) 午後6時～午後7時30分

(2) 場 所 竹の塚センター 1階 第一会議室

(3) 参加者 地元町会・自治会等 11人

(4) 主要内容

ア 竹の塚のまちづくりの取組み状況について

イ 竹ノ塚駅付近鉄道高架化工事の進捗状況

ウ 竹ノ塚駅付近における道路整備状況について

エ 竹の塚タウンマネジメントの取組みについて

オ その他

8 高架下商業施設の特定用途建築物に関する住民説明の実施について

足立区中高層建築物等の建築に係る紛争の予防及び調整条例に基づき、東武鉄道が以下のとおり特定用途建築物に関する住民説明（個別説明）を予定している。

(1) 時期

令和4年12月中旬以降

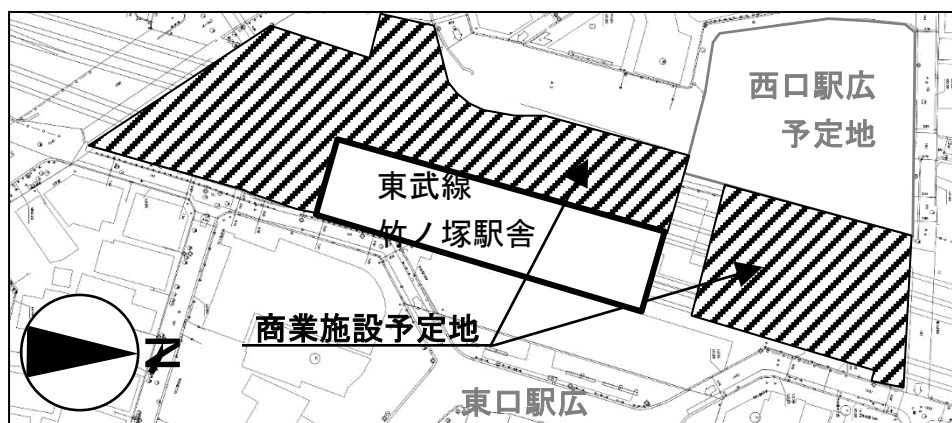
(2) 対象者

店舗から25m範囲の隣接住民及び50m範囲の近隣住民の申出者

(3) 内容

足立区中高層建築物等の建築に係る紛争の予防及び調整条例の手引
きに沿って説明。

(4) 位置図



問 題 点
今後の方針

- 1 鉄道事業者との連携や国・都の積極的な協力を得て、早期の完成を目指す。
- 2 着実な事業の進捗に向けて、国庫補助金等の財源確保に努める。
- 3 足立区、ＵＲ都市機構、東武鉄道の三者で協力し、引き続き駅周辺のまちづくり検討を進めていく。

東武伊勢崎線(竹ノ塚駅付近)連続立体交差事業 鉄道高架化工事のお知らせ

別紙

令和4年12月
東武鉄道竹ノ塚工事事務所

工事工程予定表

《Ⅰ工区》

道路工事として、引き続き、区道(竹の塚169号線)復旧関連工事(昼夜間)を行います。

《Ⅱ工区》

高架橋工事として、引き続き、下り線高架橋柱盛替え(昼夜間)を行います。
道路工事として、引き続き、区道(西新井391号線)復旧関連工事(昼夜間)を行います。

《Ⅲ工区》

建築工事として、引き続き、駅業務施設等新設(昼間)を行います。
付帯工事として、引き続き、仮地下道等撤去(昼夜間)を行います。また、新たに高架排水設備工事(昼夜間)を行います。

《Ⅳ工区》

高架橋工事として、引き続き、引上線高架橋構築(昼夜間)を行います。
付帯工事として、2月から竹の塚6丁目ヤード復旧、高架排水設備工事(昼間)を行います。

《軌道工区》

軌道工事として、引き続き、引上線軌道新設(昼夜間)を行います。

※事業完了は令和5年度末を予定しています。

工事概要		1月		2月		3月		連絡先	
Ⅰ 工 区	道路工事	区道（竹の塚169号線）復旧関連工事（昼夜間）						東急・東武JV TEL 03-3858-3501	
Ⅱ 工 区	高架橋工事	下り線高架橋柱盛替え（昼夜間）						大成・東武JV TEL 03-5838-1033	
	道路工事	区道（西新井391号線）復旧関連工事（昼夜間）							
Ⅲ 工 区	建築工事	駅業務施設等新設（昼間）						鹿島・東武谷内田・ 熊谷・東鉄JV TEL 03-5809-5450	
	付帯工事	仮地下道等撤去（昼夜間）、高架排水設備工事（昼夜間）							
Ⅳ 工 区	高架橋工事	引上線高架橋構築（昼夜間）						大林・東武・鉄建・戸田JV TEL 03-5647-8657	
	付帯工事			竹の塚6丁目ヤード復旧（昼間）、高架排水設備工事（昼間）					
軌道 工 区	軌道工事	引上線軌道新設（昼夜間）						東武谷内田建設 TEL 03-5831-5722	

ご協力をお願いします



- 夜間や休日にも作業を行ってまいります。工事の内容につきましては、チラシ等でお知らせいたします。
- 騒音・振動の抑制に努めるとともに、事故のないよう安全第一で、工事を進めてまいります。

全体平面図



①西新井方 高架下状況



②仮地下道撤去工事の状況



③谷塚方 引上線高架橋工事状況



※本資料についてご不明な点は、東武鉄道竹ノ塚工事事務所(TEL03-6807-1461)(FAX03-6807-1367)にお問い合わせください。また、各工区の詳細は各工区の連絡先までお問い合わせ願います。
※事業についてご不明な点は、足立区鉄道立体推進室(TEL03-3880-5484)(FAX03-3880-5605)にお問い合わせください。